



TSURUGASHIMA ROTARY CLUB

鶴ヶ島RC会報



インスピレーションになるう

2018-2019年度

第2570地区ガバナー 茂木 正
鶴ヶ島 RC 会長 山中 基充

R.I 会長 バリー・ラシン

第一グループガバナー補佐 小澤 政治
鶴ヶ島 RC 幹事 木村 武志

第1781回例会 平成30年9月26日(水)
例会場 アルカーサル迎賓館川越

【 司 会 】 SAA 平山実君

【 開 会 点 鐘 】 12:30 山中基充会長

【 会 長 の 時 間 】 山中基充会長
皆様こんにちは。

SNSで友人の書き込みに「半分青い」で最後に東日本大震災を出すなら原発の重い雰囲気を出すべきというのがあって「でも震災当初は、原発の事は知らされず、瓦が落ちたことや屋上の水道タンクなど今考えると能天気な事で右往左往していた、民主党政権が1カ月間隠ぺいしたからね」と書き込んだら、本当は、メルトダウンを隠していたのだけれど、そういう、本筋と違うところを攻撃されるとの忠告がすぐあってすぐ削除することにしました。うかつだった猛省。少し表現が誇大だった、それで真意が伝わらないと言葉の恐さを感じました。

鶴ヶ島市議会が出された請願「東海第二原発の運転期間延長を認めないことを政府、国会及び原子力規制委員会に求める意見書の提出を求める請願」でも、原発の是非は議論されるも、東海村やその周辺5市に最後の決定権があるのに、ただ恩恵だけを受けていた鶴ヶ島市民として、相手を想う心や自分を顧みる事が全く記載されていなかったのは残念であり、言葉に出さないと心は通じないもので、反対に一所懸命で、そういう思いがない事が明らかだと、それを理由に反対をしました。

何か言葉を発するには、責任が必要ですし、思いが必要です。一言の大切さは、日々ご商売の現場で、組織の運営の現場で、地域活動などでも皆様感じている

ことだと思えます。

ロータリークラブの皆様のように会社や地域でリーダーをされている方は、言うべき事は、言わなければならない事も多いと思えます。語らなければ、心は伝わらない、心を伝えることができなければ、人は動かない。

伺った話ですが、その中で、頑張っている人、努力している人、苦勞している人を讃えることが大切だという事でした。「よく頑張って下さいました」「本当にうれしいです」「ありがとうございました」、わざわざ口に出して言わなくても分かっているだろうと思うのは、ある意味の「怠慢」だそうです。

言葉の恐さ、でもそれを発する大切さを教わりましたので、我が鶴ヶ島ロータリークラブでは、互いを讃える言葉をちゃんと発しながら、いい人生をともに送りましようとして申し上げます。

【 幹 事 報 告 】 木村武志幹事

1. 地区より「さきたま古墳研修セミナーの案内の送付とお願い」が届いています。
2. 「9月ロータリーの友月間に寄せて」のお知らせと10月号の目次が届いています。
3. ハイライト米山が届いています。
4. 東松山 RC より創立 55 周年記念式典の案内が届いています。
5. 10月のRIレートは112円です。
6. 10月例会の出欠表の記入をお願いします。
7. 西日本豪雨災害義捐金の協力をお願いします、本日を締め切りといたします。
8. 北海道地震災害義捐金の協力をお願いします。

【委員会報告】

◎戦略委員会

横山明美副部門委員長

9/12 日例会の RLI 方式「40周年記念式典について」の報告

【出席報告】

齊藤大祐委員

会員数	出席者	出席 免除者	免除 出席者	出席率	修正 率
31名	22名	3名	2名	70%	

◎ニコニコBOX

★交通安全に勤めましょう。 登坂一彦君

★登坂さんイニシエーションスピーチ宜しく願い致します。 山中基充君

川野昇君 内野一夫君 清水良一君
 齊藤勇司君 木村好伸君 横山明美君
 田中憲一君 齊藤大祐君 木村武志君
 平山実君 山岡達生君 佐々木龍児君
 内田敬子君

★朝日新聞社写真コンテストに入選しました。

渡辺道雄君

★渡辺さん第35回埼玉県写真サロン展準特選入選尾おめでとう。 内野麒一君

★登坂さんイニシエーションスピーチ宜しく願い致します。新聞社写真コンテストに入選おめでとうございます。 松崎峰夫君

★ようやく秋の気配を感じるようになりました。登坂さんイニシエーションスピーチ宜しく願い致します。 宮前典子君

【イニシエーションスピーチ】

登坂一彦君

登坂と申します。イニシエーションを行うことで初めてロータリークラブの一員になれることを誇りに思っています。この鶴ヶ島で昭和45年に生まれ鶴ヶ島で育ち48歳になりました。現在妻と11歳の一人息子と3人でくらししています。妻とは恋愛結婚しましたが当初結婚を決めた理由はこの人なら自分のパンツを一生洗ってくれるのではないかとの思いで結婚しました。妻には結婚の理

由を聞かれたことが無かったので未だに言えていませんが今現在でも仲睦まじく暮らしができてとても幸せです。性格はセッカチです。気が短いのか待っているのが苦手です。思いたったら少しだけ考え行動してみる。成果が良し悪しにせよ結果を見ないと気が済まない。

趣味は家族とスキューバダイビングをすることです。息子も10歳でライセンスを取り毎回家族3人で沖縄の海に潜り楽しんでいますが、沖縄ではウミガメの孵化を見ることを楽しみにしていますけど未だ見たことがありません。

仕事はレッカー業を行っています。業務内容は皆様が普段マイカーとして利用されている車が故障など起こされた際に救援に向かう業務です。毎日の業務の中で多いのはバッテリー上がりです朝出勤される時や日曜日に出かける時、ゴルフに向かおうとした際車のバッテリーが上がってしまいエンジンがかからなくなった場合に救援要請があり速やかにお客様のところに駆け付け復旧作業をして行動が再度履行できるよう24時間体制で皆様の生活のサポートしている業務です。

そういった部分では仕事を通じて皆様の私生活において日々、わずかながらですがお役に立てている仕事なのかなと思っています。

その他事故・故障した車を修理工場まで運ぶのが主な業務です。普段の日常生活では皆様にとって縁がない業務ですが災難時には最大限の力を発揮しますのでお困り事がありましたら何なりと遠慮なくお申し付けください。

私は二十歳からこの業務を日常的に行っていますが自分としては皆様の普段の生活や業務中の支障を少しでも軽減ができお役にたてたことへの実感を得て楽しく仕事をさせて頂いております。

東日本大震災では東北の方が関東に避難された時、こちらの親戚のお世話になりながらもこちらの生活環境に適応出来なかったのか、当時の衝撃的な出来事が脳裏から離れることが出来なかったのか分かりませんが精神的苦痛を強いられ、挙句の果て車中で練炭自殺をはかたりして、その現場に行くたびに嫌な気持ちにもなりました。

今年に入ってから是非常に災害支援が多かったです。3月には北海道では発達した低気圧で北海道では数年に一度の猛吹雪のなかの現場である林道に入りお客様と連絡を取り合いながら2時間掛けても現場に辿り着かず、来た道が見る見るうちに雪が降り積もり、通

てきた形跡が無くなる程の積もり方で、我々の救援車両もドカドカと降り積もっていく雪に埋まっていく状況で対処できなくなった事もありました。

7月西日本豪雨岡山・広島に車の救援要請があり行きました、そこで見た光景は凄まじかったです。広島の呉市の住宅地はすり鉢状になっていて急斜面の山肌に民家がぎっしり建てられており、その真ん中に小さい川が流れていて豪雨によって山が崩れその小さい川に土砂がいきなり押し寄せ、当然その川だけでは流し切れず周囲両サイド50mの家に土砂が襲いかかって一階部分の窓を土砂がぶち破り完全水没というより土砂で町が平になった感じでした。自分たちは車の救出に行ったのだけど車がどこにあるかと聞くと屋根だけが土砂から見える状態で割れた窓からぎっしりと土砂が入っているので車を掘り出しても更に土砂を掻き出し作業をするようでした。

人は自然災害には無気力で、いったん災害に見舞われたら財産をいきなり失われる悲惨さが被災地にはあるのだと思い活動しております。

私たちの業務は通常業務に加え災害がある度に被災地に赴き活動しております

そんな仕事をしてきてかれこれ二十歳から始めて28年間続けています。この私がここまで続けてこられたのも、自分たちの仕事がお客様から感謝して貰え、多くの方々マイカーを所持していることによって私共の仕事が、成り立ち生活ができているのだと感謝するようになりました。

言わば市民皆様一人一人が当社のお客様と考えており特に活動拠点である鶴ヶ島には感謝の意を込めて社会奉仕活動を当社では積極的に推進しております。

今、私は生まれ育った鶴ヶ島でこんな活動をして生まれ育った地域に微力ながら役に立てればと思っていますが一人の奉仕活動には当然限界を感じますが多くの人と取り組むことによって実現性は高くなると思っています。これからも皆様方のご指導のもと会社が存続していく限り多くの方と知り合っ、自分の住む地域の発展と自分の生活の為に努力していこうと考えていますのでどうぞ宜しくお願いいたします。



ポールハリスソサエティ会員

齊藤勇司君



【 閉 会 点 鐘 】 13:30

山中基充会長



事務所：鶴ヶ島市商工会館内
 鶴ヶ島市鶴ヶ丘 855 TEL049-271-6600
 FAX049-271- 6610
 例会場：アルカーサル迎賓館川越
 川越市鯨井新田4-11 TEL049-231-7777
 E-mail:tsurugashima.rc@ah.wakwak.com
 ホームページURL <http://tsurugashima-rc.jp>